検証シートの記載例

積極戦略　１　しごとで活力を「つくる」　　検証シート　（R3年度）

(ア) 第1期総合戦略で掲げる基本目標等をそのまま記載している。

(イ) 基本目標に掲げる数値目標の令和3年度実績として直近で把握できる値を記載している。

〔基本目標〕　つくる

本市が直面している転出超過を解消していく上では、若い世代を中心に東京都や福岡県などへ向かう流れに歯止めをかけることが重要であり、そのためには、市域内に魅力的で安定した雇用の場を確保していかなければなりません。
地域産業の競争力強化や新産業の創出、企業立地の推進などに取り組むことにより、新たな雇用の場が創出されるとともに、若い世代や、潜在的な労働力である女性や高齢者などの活躍をあわせて推進することにより、地域における雇用機会の拡大にもつながります。
そのような安定した雇用を生み出し、地域の活力を維持するまちの創造を目指し、しごとで活力を「つくる」取組を展開します。

指　標	基準値	目標値（R3）	単位	実績値（R3）	対目標値
事業所数	(H26)　28,317	30,100	事業所	27,279　＊	−58.2%
従業者数	(H26) 278,415	283,500	人	274,569　＊	−75.6%

注)＊は、当該年度の実績値でなく、参考値を示している。(以下同じ。)

〔基本的方向〕

生産性の向上や商品・サービス等の高付加価値化 、国内外への販路拡大を図るため、新事業・新産業の創出や事業経営への支援、人材の確保などに取り組むほか、商業・サービス業、ものづくり産業 、農林水産業など、それぞれの産業の活性化を図り、地域産業の競争力強化を進めます。
また、若い世代の雇用拡大が期待される創業・第二創業への支援、企業立地の推進や、女性や高齢者等の活躍促進などに取り組み、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大に努めます。

＜摘要＞
(1)　評価（ＫＰＩ）
ａ：十分に達成されている
ｂ：概ね達成されている
ｃ：あまり達成されていない

(2)　検証会議の意見
Ａ：引き続き、現状の取組を推進すべきである
Ｂ：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
Ｃ：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

R2実績値及び評価を参考記載している。

〔主な施策及び重要業績評価指標(KPI)〕

(ウ) 主な施策とそのKPIをそのまま記載している。

(エ) 実績値(R3)に係る対目標値及び評価を記載している。

主な施策の名称	No.	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値（R3）	単位	実績値（R3）	対目標値	評価（R3）	R2参考 実績値 評価
(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組)									
①新事業・新産業創出の支援	1	新たなビジネス展開に取り組む事業者数	(H26)　8	127	事業者(5年間)	127	100.0%	c	110
		本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率	(H28)　36	60	%	40	16.7%		42
									c

主な取組内容	具体的な取組の内容　(R3)
健康・環境分野における企業間・産学間等の事業化支援	組に対し助成するとともに、ヘルスケア分野のビジネスアイデアの創出とその事業化支援(事業化支援:4者×4 産業創出推進事業」を活用したプロジェクトの支援のほか、産学連携のきっかけづくりを目的としたマッチングイベ 援の結果、焼酎粕を活用した飼料開発を目的とした大学との共同研究や、鹿児島産「健康食」の開発を支援する 機能性表示食品開発支援サービスの創出プロジェクトなどに繋がった。 なお、〇〇〇〇の取組に対する助成は、感染症の影響により、××××ができなかったことから助成件数が大幅に減少した。 (2年度〇件⇒3年度〇件) また、以下の取組については感染症の影響を踏まえ実施を見送っている。 ・〇〇〇〇(×××事業)、・▲▲▲▲(□□□事業)
デザイン等のクリエイティブ産業の育成支援と集積促進	「かごしまデザインアワード」や人材育成セミナー等の開催などを通じて、デザイナー等の人材育成や製品等の競争力強化を図ったほか、デザイン・コンテンツ業の企業立地にも取り組んだ。 なお、□□□□□は感染症の影響を踏まえ、オンライン開催にするなど事業の見直しを図った。
市が保有する統計・地理情報等のオープンデータ化の推進	本市ホームページにおいて公開している公共施設の位置情報等のデータ数を拡充した。(2年度末〇件⇒3年度末〇件) 市民のひろば等での周知広報に努めた。

(オ) R3年度の取組状況を記載している。感染症の影響による実績の増減や実施見送り、コロナを踏まえた取組の見直しがあれば具体的に記載している。(該当部分は下線で示している。)

KPIの達成状況を踏まえた第1期総合戦略における施策全体の評価

施策の達成状況等　(R3年度まで)	今後の方向性(考え方)	検証会議の意見	
KPIについては、あまり達成されていない。これは、〇〇〇〇〇〇〇〇によるものと考えられる。 R3年度までの取組状況としては、ヘルスケアなどの分野における事業化支援(事業化後のサポートを含む)や、クリエイティブ産業の育成支援に取り組んだほか、オープンデータについては、本市ホームページにおいて公開している公共施設の位置情報等のデータ数を拡充するとともに、市民のひろば等での周知広報に努めた。	専門家による事業化支援や、産学連携のためのマッチング支援、補助事業に対する継続的なサポートのほか、クリエイティブ産業の育成支援や事業化された取組のPR等を引き続き進める。 また、感染症の影響を踏まえ、〇〇〇〇を見直すなど×××の取組を進める。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-②新事業・新産業創出の支援	KPIについては、事業化率の進捗が伸び悩んでおり、あまり達成されていない。事業化には一定の期間を要することを踏まえると取組の方向性は妥当であることから、引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、事業者へのサポートに取り組んでいただきたい。	A

(カ) 施策の達成状況について記載するとともに、R3年度までの取組状況を総括的に記載している。
※KPI評価が感染症の影響を受けている場合はその理由を記載している。

(ク) 当該施策に対する検証会議の意見とその評価を記載している。

(キ) 施策の達成状況等を踏まえたR4年度以降の取組の方向性を記載するとともに、第2期総合戦略における位置づけを記載している。